

本時の学習課題

**パスを味方から受けるためにどのように動いたら良いだろうか？
ボール所持者はどう判断する！？**

本校で育成する資質・能力

(教科) 思考力・判断力・表現力(学校) 主体性、コミュニケーション能力

1 日時 令和7年10月17日(金) 12:30~13:20

2 学年 第2学年2組 40名

3 場所 体育館

4 単元について

○ 単元観

本単元は、学習指導要領体育分野E球技の内容を受けて設定している。

球技は、ゴール型、ネット型、及びベースボール型などから構成され、個人やチームの能力に応じた作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝敗を競うことに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

中学校では、基本的な技能や仲間と連携した動きを発展させて、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲーム展開できるようにすることが求められる。なお、指導に際しては、知識の理解を基に運動の技能を身に付けたり、運動の技能を身に付けることで一層知識を深めたりするなど、知識と技能を関連させて学習させることや、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の内容をバランスよく学習させることを大切にし、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。
- (ア) ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすること。
- (2) 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
- (3) 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全に気を配ること。

教科の目標は、「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」とされている。この「体育や保健の見方・考え方」とは、体育では「運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること」とされている。保健では、「個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスク軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること」と考察する際の視点や方法として整理されている。この「楽しさや喜び」の視点から、体育分野全体にかかる本質的な問いとして、「バスケットボールの楽しさや喜びはどのようなものだろうか」という問いを設定した。

本単元では球技の中でもバスケットボールの単元を取り扱うため、「バスケットボールの楽しさや喜びはどのようなものだろうか」という本質的な問いについて、『する・みる・支える・知る』の多様なかわり方の視点から考察していく。

○ 生徒観

本学年の1学期の学校評価・生活調査アンケートを表1に示す。

表1 学校評価・生活調査アンケート

質問項目	肯定的評価	否定的評価
保健体育の授業に満足している	92%	8%

表1の結果から、保健体育の授業全体には満足している生徒の割合が多いことが明らかになった。各単元の客観的な実態を捉えるために、本学級で事前に行ったアンケートを表2、表3に示す。表2は、選択式の回答であり、表3は、記述式の回答である。

表2 生徒 事前アンケート

質問項目	肯定的評価	否定的評価
①体育の授業で自分の課題が分かる	90.5%	9.5%
②体育の授業で仲間と協力して授業に取り組むことができる	97.3%	2.7%
③体育の授業を通して、色々な人とコミュニケーションを取ることができている。	94.6%	5.4%
④体育の授業が好きである	89.2%	10.8%
⑤球技をすることは好きである	83.8%	16.2%
⑥バレーをすることは好きである	90.5%	9.5%
⑦ソフトボールをすることは好きである	62.2%	37.8%
⑧サッカーをすることは好きである	70.3%	29.7%
⑨バスケットボールをすることは好きである	82.4%	17.6%

表2の結果から、同じ球技でも、バレーボールの単元と比較するとその他の球技の単元は好きと答える生徒の割合が低いことが明らかになった。

表3 生徒 事前アンケート

	肯定的な理由	否定的な理由
⑩ ⑨で回答した理由を書いてください (自由記述)	○体を動かすことが好きだから ○連携をしてチームとして動くのが好きだから ○ゴールに入れると達成感があるから ○チームで会話をしながらできるから	○ボールをキャッチするのが苦手だから ○体力的にきついから ○ルールがよく分からないから ○仲間へパスができないから ○ゴールにボールを入れるのが難しいから

以上の結果から、体育の授業は前向きに取り組んでいるが、バスケットボールについては、パスやシュートが難しく達成感がないことや、ボールへの恐怖心を持っていること、ルールが分からないことで苦手意識を持ち、バスケットボールが嫌いな生徒が多いことが分かる。

○ 指導観

指導に当たっては、生徒実態を踏まえ、表3の⑩の課題を受けて、バスケットボールを通してシュートが決まった時やチームで協力した時の達成感や楽しさを味わわせるために、基本的技能の習得を重視した活動が必要であると考えた。成功体験をさせることで、苦手意識を下げていきたい。そして、基本的な技能の習得のみならず、知識の理解を基に技能を身に付けたり、技能を身に付けることで一層知識を深めたりするなど、知識と技能を関連させて学習させたい。また、グループ活動を通して、仲間と教え合ったり、助け合ったりして仲間とともに活動することの楽しさも味わったりすることで、保健体育の見方・考え方をはたらかせて学習できると考えている。以上のことを大切に学習する為に、以下の2つのことに取り組んでいく。

1つ目は、毎回の授業で、グループごとで行うドリルゲームを取り入れていく。ドリブルやパス、シュートの練習の過程でゲーム要素を取り入れることによって体力が必要な活動でも意欲的に取り組ませたい。また、グループという少人数で取り組ませることで活動場所を確保しつつ、空間の感覚を身に付けやすくし、パスをする際の苦手感を減らしていく。また、グループで自分の考えを仲間に伝える時に根拠を持って課題を発見したり、出来映えを伝えられたりできるようにさせたい。

2つ目は、クロムブックを活用し、知識・技能向上につなげる。お手本の動きを見て学んだり、自分自身の動きをカメラで撮ったりして活用させたい。自分の課題に合った見本動画を見たり、分析したりすることで、個人の技能に合った課題を解決させていきたい。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本単元においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

授業の展開の場面 (ミニホワイトボード等を使用している)	資質・能力	意欲・態度	知識・スキル		
		主体性 (自己を認識する力、自分の人生を選択する力)	コミュニケーション能力 (表現する力)		
レベル1	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 speak) ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	(聞く) ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。	(やりとり) ○話を聞いて質問することができる。	
レベル2	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 tell) ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	(聴く) ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながらきくことができる。	(やりとり) ○話を聞いて、内容を深めるために、質問ができる。	
レベル3	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 talk) ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	(訊く) ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	(やりとり) ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。	
レベル4	やりたいことを自ら見つけ、分析し、(大人の力も借りながら)自分たちで実行できる。	少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。			

6 単元目標

- (1) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすること。【知識・技能】
- (2) 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。【思考・判断・表現】
- (3) 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全に気を配ること。【主体的に学習に取り組む態度】

7 評価規準

知識・技能		思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<p>○知識</p> <p>①バスケットボールには、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、書き出している。</p> <p>②バスケットボールにおいて用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p>	<p>○技能</p> <p>①ゴール方向に守備者がいない位置でシュートができる。</p> <p>②得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことができる。</p> <p>③パスを受けるために、ゴール前に空いている場所に動くことができる。</p>	<p>①攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。</p> <p>②自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>①球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとしている。</p> <p>②作戦などについての話合いに参加しようとしている。</p> <p>③一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとし、仲間の学習を援助しようとしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</p>

8 指導計画（全9時間）

教科・領域の本質的な問い

バスケットボールの楽しさや喜びはどのようなものだろうか

時間	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">学習課題</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ねらい</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">指導内容</p>	学習課題	ねらい	重点	記録	生徒の行動・思考	評価 〔評価方法〕
学習課題							
ねらい							
1	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>学習課題：バスケットボールの授業の流れをつかもう。</td> </tr> <tr> <td>ねらい：バスケットボールの授業の見通しを持つことができる。</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールの授業の流れやルール、基本用語、評価、ワークシートの書き方を理解させる。 ・単元を貫く問いの設定により、学習の見通しをもたせる。 	学習課題：バスケットボールの授業の流れをつかもう。	ねらい：バスケットボールの授業の見通しを持つことができる。	知	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れを確認しながら実際に行う。 ・試しのゲームをする。 	バスケットボールは、個人やチームの能力に応じた作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができることについて、書き出している。〔ワークシート〕
学習課題：バスケットボールの授業の流れをつかもう。							
ねらい：バスケットボールの授業の見通しを持つことができる。							
<p>単元を貫く問い</p> <p>バスケットボールの楽しさや喜びはどのようなものだろうか</p>							
2	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>学習課題：パス、ドリブル、シュートのポイントは何だろうか？</td> </tr> <tr> <td>ねらい：ボール操作（パス、ドリブルシュート）のポイントを理解し、身に付けることができる。</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ドリルゲームの方法、ポイント、ローテーションの仕方を理解させる。 ・ドリブル、パス、シュートのポイントを理解させ、基本的なボール操作の動きを身に付けさせる。 	学習課題：パス、ドリブル、シュートのポイントは何だろうか？	ねらい：ボール操作（パス、ドリブルシュート）のポイントを理解し、身に付けることができる。	知技		<ul style="list-style-type: none"> ・シュート、パス、ドリブル、1対1の練習をする。 ・個々のつまずきに合った動画や資料を見る。 ・空間の使い方のつまずきを減らすために、コーン取りをする。 ・シュート、パス、ドリブルの練習を通して、それぞれのコツに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールにおいて用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。〔ワークシート〕 ※2・3・4時間目は同じ内容を行う。3時間の中で評価を行っていく。
学習課題：パス、ドリブル、シュートのポイントは何だろうか？							
ねらい：ボール操作（パス、ドリブルシュート）のポイントを理解し、身に付けることができる。							
3	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>学習課題：パス、ドリブル、シュートのポイントは何だろうか？</td> </tr> <tr> <td>ねらい：ボール操作（パス、ドリブルシュート）のポイントを理解し、身に付けることができる。</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ドリルゲームの方法、ポイント、ローテーションの仕方を理解させる。 ・ドリブル、パス、シュートのポイン 	学習課題：パス、ドリブル、シュートのポイントは何だろうか？	ねらい：ボール操作（パス、ドリブルシュート）のポイントを理解し、身に付けることができる。	知技		<ul style="list-style-type: none"> ・シュート、パス、ドリブル、1対1の練習をする。 ・個々のつまずきに合った動画や資料を見る。 ・空間の使い方のつまずきを減らすために、コーン取りをする。 ・シュート、パス、 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールにおいて用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。〔ワークシート〕 ※2・3・4時間
学習課題：パス、ドリブル、シュートのポイントは何だろうか？							
ねらい：ボール操作（パス、ドリブルシュート）のポイントを理解し、身に付けることができる。							

	トを理解させ、基本的なボール操作の動きを身に付けさせる。			ドリブルの練習を通して、それぞれのコツに気付く。	目は同じ内容を行う。3時間の中で評価を行っている。
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">学習課題：パス、ドリブル、シュートのポイントは何だろうか？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ねらい：ボール操作（パス、ドリブルシュート）のポイントを理解し、身に付けることができる。</div> <ul style="list-style-type: none"> ドリルゲームの方法、ポイント、ローテーションの仕方を理解させる。 ドリブル、パス、シュートのポイントを理解させ、基本的なボール操作の動きを身に付けさせる。 	知技	○	<ul style="list-style-type: none"> シュート、パス、ドリブル、1対1の練習をする。 個々のつまずきに合った動画や資料を見る。 空間の使い方のつまずきを減らすために、クーン取りをする。 シュート、パス、ドリブルの練習を通して、それぞれのコツに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> バスケットボールにおいて用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 〔ワークシート〕 ※2・3・4時間目は同じ内容を行う。3時間の中で評価を行っている。
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">学習課題：パスを味方からどううける？ボールを持った時の判断は！？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ねらい：①ゴールの前の空間でボールを受けて攻撃することができる。②ゴール方向に守備者がいない位置でシュートすることができる。（①ボールを持っていない人②ボール保持者）</div> <ul style="list-style-type: none"> パスを受けるための動きを理解させる。 ボールを保持している時は「シュート→ドリブル→パス」の順で動きを選択していくことを理解させる。 ボールマンの攻めを優先させるためにスペースを広くとる動きを理解させる。 ゴール前にスペースができた時に走りこむにはどうすればいいか考えさせる。 	思技		<ul style="list-style-type: none"> カットイン、カットアウト、スクリーンプレーなどの空間への動き方を練習する。 3対3での練習をする。 個々のつまずきに合った動画や資料を見る。 試合で使う作戦を立てる。 	<p>得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことができる。</p> <p>パスを受けるために、ゴール前に空いている場所に動くことができる。</p> <p>ゴール方向に守備者がいない位置でシュートすることができる。</p> <p>〔行動観察〕</p> <p>攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。</p> <p>〔ワークシート〕</p> <p>※5・6・7時間目は同じ内容を行う。3時間の中で評価を行っている。</p>
6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">学習課題：パスを味方からどううける？ボールを持った時の判断は！？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ねらい：①ゴールの前の空間でボール</div>	思技		<ul style="list-style-type: none"> カットイン、カットアウト、スクリーンプレーなどの空間への動き方を練習する。 3対3での練習を 	<p>得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことができる。</p> <p>パスを受けるために、ゴール前に空</p>

	<p>を受けて攻撃することができる。 ②ゴール方向に守備者がいない位置でシュートすることができる。 (①ボールを持っていない人②ボール保持者)</p> <p>パスを受けるための動きを理解させる。ボールを保持している時は「シュート→ドリブル→パス」の順で動きを選択していくことを理解させる。ボールマンの攻めを優先させるためにスペースを広くとる動きを理解させる。ゴール前にスペースができた時に走りこむにはどうすればいいか考えさせる。</p>			<p>する。 ・個々のつまずきに合った動画や資料を見る。 ・試合で使う作戦を立てる。</p>	<p>いている場所に動くことができる。ゴール方向に守備者がいない位置でシュートすることができる。 [行動観察] 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 [ワークシート] ※5・6・7時間目は同じ内容を行う。3時間の中で評価を行っていく。</p>
7	<p>【本時】</p> <p>学習課題：パスを味方からどううける？ボールを持った時の判断は！？</p> <p>ねらい：①ゴールの前の空間でボールを受けて攻撃することができる。 ②ゴール方向に守備者がいない位置でシュートすることができる。 (①ボールを持っていない人②ボール保持者)</p> <p>パスを受けるための動きを理解させる。ボールを保持している時は「シュート→ドリブル→パス」の順で動きを選択していくことを理解させる。ボールマンの攻めを優先させるためにスペースを広くとる動きを理解させる。ゴール前にスペースができた時に走りこむにはどうすればいいか考えさせる。</p>	思技	○	<p>・カットイン、カットアウト、スクリーンプレーなどの空間への動き方を練習する。 ・3対3での練習をする。 ・個々のつまずきに合った動画や資料を見る。 ・試合で使う作戦を立てる。</p>	<p>得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことができる。パスを受けるために、ゴール前に空いている場所に動くことができる。ゴール方向に守備者がいない位置でシュートすることができる。 [行動観察] 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 [ワークシート] ※5・6・7時間目は同じ内容を行う。3時間の中で評価を行っていく。</p>
8	<p>学習課題：日比崎杯開幕！～優勝をめざせ～</p> <p>ねらい：練習してきた空間への動き方を活かしてゲームで得点することができる</p>	態		<p>・チームでの練習をする。 ・4対4のゲームをする。 ・チームの成果と課題を考える。</p>	<p>球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとしている。 [ワークシート]</p>

	<p>できる。</p> <p>これまでの練習の成果を出すためにゲームをさせる。ゲーム後にはチームで成果と課題を出させてこれからの取り組みを考えさせる。バスケットボールの楽しさ・喜びを考えさせる。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールの楽しさ・喜びを考える。 	<p>作戦などについての話し合いに参加しようとしている。一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとし、仲間の学習を援助しようとしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</p> <p>※8・9時間目は同じ内容を行う。3時間の中で評価を行っていく。</p>
9	<p>学習課題： 日比崎杯開幕！～優勝をめざせ～</p> <p>ねらい： 練習してきた空間への動き方を活かしてゲームで得点することができる。</p> <p>これまでの練習の成果を出すためにゲームをさせる。ゲーム後にはチームで成果と課題を出させてこれからの取り組みを考えさせる。バスケットボールの楽しさ・喜びを考えさせる。</p>	態	○	<ul style="list-style-type: none"> ・チームでの練習をする。 ・5対5のゲームをする。 ・チームの成果と課題を考える。 ・バスケットボールの楽しさ・喜びを考える。 	<p>球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守るようとしている。</p> <p>作戦などについての話し合いに参加しようとしている。一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとし、仲間の学習を援助しようとしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</p> <p>※8・9時間目は同じ内容を行う。3時間の中で評価を行っていく。</p>

9 本時の展開

(1) 本時の目標

- ドリルゲームを通して、ゴールの前の空間でボールを受けて攻撃することができるようになる。ゴール方向に守備者がいない位置でシュートをすることができるようになる。

(2) 本時の評価規準と生徒記述の例

攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。

【思考・判断・表現】

生徒の記述例

- ・スクリーンは仕組みが難しいため、動画を見ながら同じように動いてみる。
- ・カットアウトの動き方は分かってきたため、コーンではなく実際に人で練習してみる。

(3) 準備物

(体育館) ・ボール・タイマー・三角コーン・Wi-Fi・クロムブック・三脚

(生徒) ・クロムブック・ワンダフルスポーツ・ファイル (ワークシート) ・筆記用具

(4) 本時の流れ (7時間目/全16時間)

発問の工夫 導入の工夫 ICTの活用 小グループ・ホワイトボードの活用 話し合い活動

過程	<input type="checkbox"/> 学習活動 <input type="checkbox"/> 教師と生徒のやりとり	指導上の留意事項 (○) ・予想される生徒の反応 (・)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力 【評価方法】
1 課題設定 5分			
導入	<input type="checkbox"/> あいさつ・呼名を行う。 <input type="checkbox"/> 学習課題の確認をする <input type="checkbox"/> 前時のポイントをおさえ、本時の流れの確認をする。 教師 シュートが打ちやすい状況ってどういう状況だった？ 生徒 ゴール前に走り込む。守りがいない状況で打つ。 教師 その状況をどう作り出すんだった？ 生徒 コートを広く使う。ボールがもらえる空間に動く。相手を抜こうとする。 <input type="checkbox"/> 準備運動を行う。	<input type="checkbox"/> 返事をした際に生徒の健康状態を観察する。 <input type="checkbox"/> 前時の確認をすることで、つながりを持って学習に臨めるようにする。 <input type="checkbox"/> ホワイトボードに磁石を張って、動かしながら説明する。	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">導入の工夫</div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題 パスを味方からどううける？ボールを持った時の判断は！？</p> <p>ねらい ①ゴールの前の空間でボールを受けて攻撃することができる。 ②ゴール方向に守備者がいない位置でシュートすることができる。</p> </div>			
2 課題の探究・解決 30分			
展開・前半	<input type="checkbox"/> グループ分けを行う。 (1チームは6～7人) <input type="checkbox"/> グループごとの練習メニューに沿って、実技テストの練習とドリブルの練習を行う。 <input type="checkbox"/> グループごとにドリルゲームをローテーションしながら行う。	<input type="checkbox"/> 毎回のグループを変えることで、色々な人とコミュニケーションを取れるようにする。また、人数が多いため、活動場所を確保するため、全部で6チームになるようにする。 <input type="checkbox"/> 人数が多いので、5つのゴールを使用し実技テストの練習もしながら、ドリブルの練習をすることで、効率よく練習ができるようにする。 <input type="checkbox"/> 練習箇所 (①動画・資料を見る②作戦を立てる③3対3④スクリーンプレー⑤カットア	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">話し合い活動</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">ICTの活用</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">話し合い活動</div> </div>

		<p>ウト⑥カットイン) でそれぞれの練習を行い、試合で1つでも攻め方が分かるようにする。</p> <p>※攻め方とは、ボールの貰い方や、出し方、シュートのタイミング等。</p> <p>○②の作戦では、本時の試合の攻撃の仕方を話す。</p>	
3 課題の探究・解決 10分			
<p>展開・後半</p>	<p>□練習してきたことを活かし、作戦をもとに試合を行う。</p>	<p>○1試合4分で行う。</p> <p>○試合は、少人数の方が判断をしやすく、役割も分かりやすいため、3対3で試合を行う。</p> <p>○保健体育の「支える」の視点を取り入れるため、試合を行わないチームは審判や得点の役割をおこなう。</p>	<p>攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。</p> <p>〔思考・判断・表現〕</p> <p>★コミュニケーション能力</p> <p>【ワークシート】</p>
4 片付け・振り返り【5分】			
<p>まとめ・終末</p>	<p>□片付けを行う。</p> <p>□振り返りを書く。 練習、試合を振り返り、改善したこと、工夫したことを記入し、今後の自分やチームでの取り組みを書く。</p>	<p>○グループで協力し、安全に気をつけさせて片付けをするように指示をする。</p>	
<p>まとめ</p> <p>①3ポイントラインまで広がり、ゴール前の空間を作り出し、素早く走り込む。</p> <p>②相手が前にいなかったらシュートを打つ。ディフェンスが来たらドリブルで抜く。その他のディフェンスも寄ってきたり、空いた空間に仲間がいたりしたらパス。</p>			

<p>予測される生徒の考え</p> <p>A評価 ①ゴール下の空間へ走り込むことはできた。ボールが貰えなかったので、次からはディフェンスの隙を見て素早く走り込んでいきたい。</p> <p>②ゴール方向に守備者がいない位置でシュートをすることができなかった。次からはディフェンスの動きを見て、判断をしてシュートが打てるようになりたい。</p> <p>B評価 ①ゴール下の空間へ走り込むことはできた。ボールが貰えなかったので、次からは貰えるような位置に走っていきたい。</p> <p>②ゴール方向に守備者がいない位置でシュートをすることができなかった。次からは他の判断をしてシュートが打てるようになりたい。</p>
<p>振り返り記述例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴール下の空間に走ることはできた。だけどボールがもらえなかったので、どうすればボールが貰えるのか調べたり、友達に聞いたりしたい。 ・ゴール下に走り込むのが難しかった。スクリーンプレーができるとシュートしやすいのかもしれないと思った。 ・ディフェンスにボールをカットされることが多かった。シュートやドリブルの判断を増やしていきたい。

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

尺度（評点・レベル）	評価規準
B（おおむね満足できる）	①ゴールの前の空間に走り込み、ボールを受けている。 ②ゴール方向に守備者がいない位置で、ボールがゴールに届く位置からシュートをしている。
C（努力を要する）	①ゴールの前の空間に走めていない。 ②ゴール方向に守備者がおり、守られる位置でシュートを打っている。

（5）板書計画

<p>単元 バasketボール</p> <p>課題 パスを味方から受けるためにどのように動いたら良いだろうか？ ボール所持者はどう判断する！？</p> <p>ねらい①ゴールの前の空間でボールを受けて攻撃することができる。 ②ゴール方向に守備者がいない位置でシュートすることができる。</p>			
<p>本時の流れ</p> <p>①号令・説明</p> <p>②体操</p> <p>③実技テスト練習・ドリブル</p> <p>④ローテーション練習</p> <p>⑤試合</p> <p>⑥片付け 振り返り</p>	<p>カットアウト</p> <p style="font-size: small;">☒で説明</p>	<p>カットイン</p> <p style="font-size: small;">☒で説明</p>	<p>動画資料 作戦ワークシート</p>
	<p>スクリーンプレー</p> <p style="font-size: small;">☒で説明</p>	<p>3対3</p> <p style="font-size: small;">☒で説明</p>	<p>アドバイスカード</p>
<p>安心・安全ルール</p> <p>①ボールに座らない、蹴らない</p> <p>②笛が鳴ったらボールを置いてへそを向けて聞く</p> <p>③全員で準備片付け</p> <p>④パスキャッチでの声掛け</p> <p>⑤思い切り片手で投げない</p>			